

はまゆう

発行：社会福祉法人信愛会
土肥ホーム
戸田デイサービスセンター
住所：〒410-3301
静岡県伊豆市小土肥787-2
電話：0558-98-2900
発行者：福室悦子



戸田診療所 土屋先生



森田歯科医院 森田先生

「私達の繋がり」

「皆さんののおかげさんで元気です」



理学療法士 紅野先生



土肥理美容組合の皆様

も く じ

- 2 P 戸田デイサービス～皆様に支えられています～
- 2 P 土肥ホームの星
- 3 P 介護あれこれ～紙パンツ編～
- 3 P 配食サービス
- 4 P 平成30年度事業計画
- 4 P 新人紹介・異動の紹介
- 4 P 土肥ホーム 納涼祭
- 4 P 編集後記

戸田デイサービス

～地域の皆様に
支えられています～

戸田デイサービスは、地域のボランティア様にも支えられています。

行事では、芸能ボランティア様の華麗な踊りとキレイな歌声に釘付けとなり、時には一緒に踊ったり、唄ったりするご利用者もいます。また、普段笑わない方が、ボランティア様にお会いし、ステキな笑顔を見せてくれる時もあります。

今回は私たち（戸田デイサービス）と地域のボランティア様の繋がりを紹介します。

日赤奉仕団



ご利用者からのコメント

顔なじみのボランティアさんに会えるから嬉しいよ。つつい夢中でお話することもあるな。踊りに来るボランティアさんや歌が上手いボランティアさんが来てくれるので一緒に手拍子したり、唄ったりと賑やかになるね。職員も一緒に混ざって炭坑節やフラダンスを踊った時には、私も一緒になって踊ったよ。楽しみに待ってます。いつもありがとう。



* * * 地域の芸能ボランティア様 * * *



銭太鼓100円会



フラダンスの会



漁師踊り保存会

★ 土肥ホームの星 ★



中田智己

土肥戸田居宅介護支援センター
平成15年3月16日入職

15年も働くことができるなんて入職した当初は思いもしませんでした。相当な覚悟をしてきたのですが、人の話をしたととなんてない30歳過ぎの男が、人の介護をすることはとても大変で何度も挫折しそうでした。それでも未経験者の私を一人前にするために、先輩方はわかるまで何度何度も丁寧に指導してくれました。介護福祉士の試験を受ける時には、仕事が終わってから、試験へのアドバイスをしてくれました。ひとりひとりの職員を大事にしてくれる、そんな風土が土肥ホームにはあります。そうした環境の中にあっという間からその介護の仕事が初心者の私でも15年間仕事を続けることができたのだと思います。先輩方に感謝しつつこれからも生まれ育った土肥で少しでも恩返しができるように仕事をしていきたいと思っています。

質問③ 永年勤続表彰おめでとうございます。今後の意気込みを教えてください。

介護の仕事は、自分が以前やっていた仕事に比べると人間関係がとても深いと思います。ご利用者との関係や職員同士でもそうですが、人間関係が密だからこそ大変なこともや悩むことが多いですが、その分喜ぶことや嬉しいことはそれ以上に感じることができました。良い人間関係の中で仕事ができることは良かったです。

質問② この仕事をして良かったことは？

土肥で生まれ育ち、多くの方にお世話になって大きく育ちました。土肥で働くようになり、地元の暖かさを感じながら仕事ができることは幸せなことだと思います。昔の呼び方で呼んでもらえるのは嬉しかったです。介護の仕事は、自分と比べると人間関係がとても深いと思います。ご利用者との関係や職員同士でもそうですが、人間関係が密だからこそ大変なこともや悩むことが多いですが、その分喜ぶことや嬉しいことはそれ以上に感じることができました。良い人間関係の中で仕事ができることは良かったです。

質問① 福祉の仕事をするきっかけは？

土肥を離れいろいろありましたが、30歳を過ぎてそろそろ地元に戻ろうかと考えていたところ、土肥ホームで職員の募集があることを知りました。母親がヘルパーの講習を受けていて、生半可な気持ちでは動まる仕事はない。やるなら相当な覚悟が必要だと言われました。介護の仕事は全く知りませんでした。が、祖母が施設に入所していた20歳の頃、面会に行った時に職員から入れ歯を洗ってあげてと言われ、訳もわからずやったことがありました。その程度の経験しかありませんでした。相当な覚悟をして入職したのですが、初日から見る事やることが想像を超えていて、大変なところに来てしまった。介護が大変だ、続けていくことができるのだろうか考えたことを思い出します。

介助する方が紙パンツをはかせるとき

ベッドなどに座っていただき、パンツの前後を確認して、片足ずつ通す。麻痺がある方は、麻痺側の足を先に通す。両足を通したら、パンツの中に尿とりパッドを入れる。
 立てる場合には、手すりやベッドなどにつかまってもらい、介助する方が背中側にまわってパンツをウエストまで引き上げる。



介助する方が尿とりパッドのみを交換するとき

尿とりパッドの交換の仕方

使用者の後ろ側にまわり、パンツをヒザまでおろす。
 汚れた尿とりパッドを取り外したあと、新しい尿とりパッドをパンツの上に置き、引き上げる。



はずすとき

はくときと逆の手順ではずす。脇を少しずつ破ってはずすこともできる。排便のときは、片手を股間部に当てながらはずす。



あと始末

排便時は、便だけをトイレに流す。小さく丸め、廃棄処理テープがある場合は、後ろの処理テープのつまみをはがしてとめる。ゴミ袋などに入れて処理する。



※紙おむつは可燃物だが、市区町村により廃棄物の分類が異なる。お住まいの地域の廃棄ルールに従ってください。

モレを防ぐポイント

紙パンツは、ウエスト位置までしっかり引き上げましょう。前（お腹側）は上がっていても、後ろ（背中側）がウエストまで上がっていない場合があります。はきやすく、上げやすいおむつを選ぶことが大切ですが、介助する方は、背中側をしっかりと引き上げましょう。特に腰が曲がっている方はその傾向があります。
 紙パンツに肌着の裾をはさみ込んでしまうと、肌着を伝ってモれる場合があります。注意しましょう。



配食サービス ～おいしいお弁当をお届けします～



私達がお届けします

土肥ホームの「オリジナル弁当」

【1食あたり 570円(税込み)】

平成29年度嗜好調査結果のご利用者からのご意見です

- いつもありがとうございます。おいしく頂いております
- いつも感謝です。ありがとうございます。
- 栄養のバランスがとれており、見た目も良く、満足しています。



●献立例●

マーボー茄子
 エビシュウマイ
 春雨スープ
 ご飯(ふりかけ)
 お漬物



●献立例●

天ぷら(野菜・大葉)
 ふろふき大根
 エビのマヨネーズ和え
 そば
 ご飯(桜漬け)
 *年末最後のお弁当です

ご利用についてのお問い合わせ

土肥ホーム・ケアマネジャー (0558-98-2900)
 土肥地域包括支援センター (0558-98-3001)



平成30年度事業計画

土肥ホーム及び戸田デイサービスセンターにおける平成30年度事業計画は、両地域の深刻な人口減少と高齢化率が加速する地域の高齢者に向けた対応策が急務とされます。

土肥ホームでは特養利用者の重度化が顕著であり、医療・看護・介護の連携強化が重要な課題であり、安定的な生活の維持とベッド稼働について効率運営を目標とします。

また戸田デイサービスセンターでは地域における限られた福祉サービスの資源を活用し、関係機関との連携強化をめざし、ご利用者へ満足度の高いサービスを提供いたします。

介護現場における介護労働の確保に関しては、慢性的な介護人材不足の現状から、地域のあらゆる高齢者を支える世代の労働力と人材を現場で活かす仕組みを構築し、新しい雇用スタイルを確立いたします。また土肥ホーム、戸田デイサービスセンターの総合的な人事管理により、スケールメリットを活かした人事交流や人材育成を展開していきます。

施設経営においては、老朽化設備の更新計画の実現と突発的な修繕等の実施などが対応できるよう、安定した経営と資金確保に向け、積極的な運営とサービス稼働を展開していきます。また、求められる地域の福祉ニーズを模索し、住み慣れた地域で安心した生活が継続できるように、社会福祉法人として役割を認識し、独自の社会貢献事業の実施に向けて展開をしていくことを30年の運営目標といたします。

土肥ホーム・戸田デイサービスセンター
施設長 福室 悦子

戸田デイサービス



介護職

鈴木千菜

介護の仕事は初めてなので、日々新しい事を学べてやりがいを感じています。これからもよろしくお願いいたします。

戸田デイサービス



事務職

後藤純一

60歳過ぎてからの新人というのも恥ずかしい事ですが、色々な仕事を早く覚え、少しでもスタッフの皆様のお役にたてるよう頑張っていきたいと思っています。

菜の花ホーム



介護職

豊口由起子

家族のような暖かな環境で働かせて頂けてとても嬉しく思います。いろいろと教えて頂いて良いお手伝いができたいと思います。



これからよろしく
お願いします

土肥デイサービス



生活相談員

新澤常治



土肥ホームには約10年振りの復帰となりますが、デイサービスの皆様には充実した生活を送っていただけるよう、お手伝いさせていただきます。

土肥ホーム 納涼祭

今年度の納涼祭実行委員会は、各部署から選出された精鋭5名です。伝統ある土肥ホームの納涼祭を、例年に勝るものにしようと今から意気込んでおります。

ご利用者、ご家族、そして地域の方々、協力して下さるボランティア団体の方に支えられている土肥ホーム納涼祭です。実行委員はもちろんの事、関係団体の皆様とも話し合いを重ね、納涼祭を作り上げていきたいと思っております。ご支援とご協力をお願いいたします。

平成30年7月28日(土) 開催

納涼祭実行委員長
新谷 裕生

編集後記

新緑の候 心地よい季節となって参りました。広報誌『はまゆう』は76号より新メンバーが加わりました。広報委員メンバーは私達です。よろしくお願いいたします。皆様の生活に役立つような情報や土肥ホーム・戸田デイサービス・菜の花ホームの出来事をお届けしていきたいと思っております。今後ともご意見やご感想をお聞かせ頂けたら幸いです。

山田 美希

